



Keiyukai Sakai

2019年度

蹊友会総会

6月1日(土)

大阪成蹊学園 相川キャンパス

特別講演

辛坊 治郎氏

新校舎誕生 大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学グローバル館

会員情報変更のお願い

- 住所変更（市町村合併等による住所表記変更含む）
- 改姓、改名 ■逝去 ■ご案内送付停止希望



<http://osaka-keiyukai.jp/wp/edit/>



会員情報変更手続き
専用ページ QRコード

ご挨拶

陽春の候、蹊友会会員の皆様におかれましては、蹊友会活動にご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。また、全国各地での地震や豪雨等災害により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様には心よりお見舞いを申し上げますと共に、皆様の安全と被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。蹊友会は、2019（平成31）年度にびわこ成蹊スポーツ大学同窓会と統合し、より強固な卒業生ネットワークの構築、蹊友会の更なる活性化を目指して、進化しつづける大阪成蹊学園と共に一生懸命運営に励んでまいります。

今後とも、蹊友会にご協力とご指導を賜りますようお願いいたします。
最後に、会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

大阪成蹊学園 蹊友会 会長

数田 一子



教育改革の更なる推進と2020年新体系構築への準備

大阪成蹊学園は、卒業生の皆様のご支援のもと、おかげさまで今年で創立86年を迎えます。創立より長年に亘り、女子教育の歴史と伝統に評価の高い教育機関であり、かつては女子だけで6,000人を超える生徒・学生が現在の相川キャンパスで学んでおりました。2003年に2つの大学を開学してからは、大学、短期大学とも共学化しており、2018年度の学園全体の総在籍者数は7,045人となり、創立以来、最も多くの学生、生徒、園児たちが学びに励んでおります。

大阪成蹊女子高等学校は、現在大阪府下で最大の生徒数を誇る人気の女子高校となり、大阪成蹊短期大学におきましても、5学科から7学科へと学科を拡大するなど、総合短期大学としての強みをさらに強化しており、全国でも屈指の総合短期大学としての地位を確立しています。また、大阪成蹊大学は、教育学部の開設、マネジメント学部 of スポーツマネジメント学科、国際観光ビジネス学科の開設、大学院の開設など、総合大学としての規模を拡大し、全学部で入学定員を充足。びわこ成蹊スポーツ大学もまた、日本で初の「スポーツ」をその名に冠する大学として評判を高め、志願者を増やし続けてきました。いずれの大学、短期大学とも、社会からの評価が非常に高く、在学生や卒業生の活躍は日々めざましいものがあります。

大阪成蹊学園では、2019年度からも、さらに多くの施策を展開してまいります。まず第1に、教育の質を高める様々な教育改革の更なる展開です。これまでも、特に「人間力」の基盤となるリテラシーとコンピテンシーを高めるための、様々な教育改革を展開してまいりました。全授業で推進するアクティブラーニング型授業を中心に、これまでの教育改革を更に推し進めて、初年次教育やキャリア教育、ゼミ指導の充実、産官学連携によるPBL（課題解決型）授業の拡大等を、一層推し進めていきます。また、こうした学生の学びを支える教員も更に充実する予定で、各専門の第一線で活躍してきた豊

富な実務経験や研究経験を有する優秀な教員を、更に採用してまいります。

第2に、学園全体でグローバル教育の強化を図ります。現在、高等学校では、ALT（アシスタント・ランゲージ・ティーチャー）を導入した少人数制の英語の授業を展開しているほか、海外での修学旅行、希望者によるオーストラリア、アメリカへの海外研修や台湾との国際交流研修等の実施、ベルリッツによる英会話教室の開講など、様々なグローバル教育を展開しています。本年も、こうしたグローバル教育の質を更に高めていくほか、新たに英語コミュニケーションレーンを開設するための準備も進めてまいります。大学、短期大学では、海外で専門的な学びを深めることのできるグローバル・アクティブ・ラーニングプログラムを更に充実するとともに、一人でも多くの学生が挑戦できるようにするための奨学金制度の充実を図ってまいります。また、相川キャンパスでは、2019年3月にグローバル館が竣工し、英語教育センターの移転・充実、少人数・個別指導用の英語学修スペースの設置、常駐のネイティブ教員を増員するなどして、グローバル教育環境を更に強化いたします。

第3に、2020年度からスタートする新たな学びの準備を進めてまいります。まず、大阪成蹊大学のマネジメント学部を経営学部、マネジメント学科を経営学科にそれぞれ名称を変更するとともに、経営学科の入学定員を40人増の110人として、公共政策コースを新たに開設します。同コースを中心に、大阪成蹊大学では、東京リーガルマインドと連携して、公務員採用試験合格や各種資格取得に向けた対策講座を充実する予定です。教育学部では、新たに特別支援学校教諭の免許取得を可能にするほか、進学ニーズや社会

需要の高まりに応える形で、初等教育専攻（初等教育コース、幼児教育コース）の入学定員を20人増の140人とします。芸術学部では、大きな特色であるトップクリエイターによる指導、最先端のデジタルデザイン環境を更に充実してまいります。びわこ成蹊スポーツ大学では、従来の7コース制の学びから、新たに6コース制へと再編し、より質の高いスポーツ教育を展開する予定です。また、競技部門の強化を図るため女子サッカー部に元なでしこジャパンの佐々木監督に加えて、女子の指導経験豊富なコーチを招聘するなど、我が国でも有数の指導者を招いて、各クラブで全国制覇をめざします。高等学校では、2020年度から音楽コース（仮称）を開設するため準備を進めてまいります。このコースにはピアノレーン、管弦打レーン、声楽レーン、ポピュラー・ミュージカルレーンの4つのレーンを設けます。大阪音楽大学と連携協定を締結し、正課での音楽教育だけでなく、正課外での吹奏楽やコーラスの指導など、様々な連携を推進する予定です。

このように2019年度は、これまでの教育改革の更なる推進と、2020年から始まる新たな教育体系の構築に向けた準備を進めていく1年となります。在学生や保護者、そして卒業生の方々の大きな期待に応えていくための大切な1年と認識して、教職員が一丸となって教育に向き合ってまいります。卒業生の皆様におかれましては、本年度も変わらぬご支援のほどをお願いいたします。

学校法人大阪成蹊学園 理事長・総長
(大阪成蹊学園蹊友会名誉会長)

石井 茂



蹊友会サロンを開催しました！

2018年10月6日（土）

大阪成蹊学園 相川キャンパス



蹊友会では、会員の皆様に大学祭にお越し頂き、ごゆっくりと楽しいひとときをお過ごしいただきたく『蹊友会サロン』をご用意いたしました。



家族みんなで
参加しました！



『来年も企画があれば参加したいと思いませんか？』の問いには、多くの会員の皆様から「参加したい」との温かいお声をいただき、役員一同うれしき限りです。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



大学祭 2018
POP! POPCORN!
当日はまさに大学祭日和。明るい日差しのもと、大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学大学祭「POP！POPCORN！～はじける個性☆ひろがる笑顔～」が開催されました。



蹊友会サロンへは、会員のみならず、ご家族とお越しいただいた方もいっしょに、総数300名を超える大盛況となりました。あまりの盛況ぶりに会場はあっという間に満席に。来場者からは「懐かしい記憶をたどりながら、卒業以来30年以上ぶりに来ました。」「こんなに活気のある大学祭にびっくりしています。」「卒業生の年代の幅広さに今更ながら驚きました。」などのたくさんのお声をいただきました。

デザート
おいしく♡

次回開催予定

2019年10月12日（土）

詳細決定後、ホームページにてご案内

総会の盛況が 学園繁栄の証

2018年6月3日（日）相川キャンパス図書館棟において蹊友会総会を開催いたしました。当日は好天に恵まれ、全国各地より150名の会員が集い、多くの学園関係者もご出席くださいました。



オープニングでは大阪成蹊学園コーラス部が学園歌をはじめ3曲を披露し、現役学生の若々しく美しい歌声に「なつかしい学園歌を耳にし、感動で涙しました」との感想をいただきました。荻田一子会長、石井茂理事・総長の挨拶の後、議事へと進み、2017年度決算報告、事業報告、役員選出、2018年度の事業計画及び予算案の説明があり、全て異議なく承認可決しました。

また、卒業生ネットワークの相互利用や同窓会の更なる活性化を目的とし、2019年度にびわこ成蹊スポーツ大学同窓会が蹊友会と統合することについても承認可決しました。

特別講演では、料理研究家として大活躍の浜内千波氏（大阪成蹊女子短期大学家政学科卒業）が、野菜中心に健康的なダイエットに成功した体験談をはじめ、野菜の持つ力やたんぱく質の重要性などを、冗談を交えながらお話されました。



講演終了後はラウンジに移動しての昼食会です。久しぶりに再開した恩師や友人とも会話がはずみ、まるで青春時代に戻ったかのような笑顔いっぱいの賑やかな会となりました。



2018年度 蹊友会総会のご感想

幅広い年齢層の会員の皆様にご出席いただき、多くの方から「また参加したい」とのご感想をいただきました。

念願の歌が聞けてラッキーでした！

コーラス部の歌がいつも素敵で、特に今回の「若い広場」は最高でした！2017年開催の秋の集いに参加し、そのときのコーラスで歌を知りました。本日リクエストしたいくらいでしたがラッキーでした。

特別講演の浜内先生流石です！

楽しくあきさせない内容と話術、さすが浜内先生！！体重の変化をお聞きしてびっくりしました。主婦として、毎日の調理に新しい情報を知ることができてありがたかったです。聴けてよかったです。

懐かしさに心が躍りました！

昭和39年卒業のため、同級生も少ないと思いましたが、今後は友人を誘って参加したいと思います。今回はひとりでの参加でしたが、懐かしさに心が躍りました。ありがとうございました。56年ぶりでした。

蹊友会の発展が嬉しいです！

秋の集いと今回の総会に参加しましたが、内容も充実し、特別講演の講師も色々な方面の方で、都合があればまた参加したいです。蹊友会のますますの発展を卒業生として嬉しく思います。

22年ぶりですととてもキメキメしました！

母校の活気ある姿を見ることができて良かったです。歴史もあり、誇りに思います。22年ぶりに訪れてみましたが、とてもキメキメしました。昼食もおいしかったです。



特別講師 浜内千波氏よりのコメント

私も参加させていただき、蹊友会の皆様とこれからも元気に集える大切さを強く感じました。日頃いろんな事を優先的にしている毎日、ふと振り返ると自分の体を思っていない事に気が付く。わかっているとは言え、絵に描いた餅になってしまっている部分を食卓に並べ、継続できる毎日の食事のヒントになればという思いで『食べる大切さ』をテーマにお話をさせていただきました。いつまでも蹊友会のご発展をお祈りします。

料理研究家 浜内 千波



浜内 千波

CHINAMI HAMAUCHI

料理研究家。徳島県生まれ。1975年 大阪成蹊女子短期大学家政学科栄養コース卒業。大学卒業後、OLを経て岡松料理研究所へ入所。1980年ファミリーッキングスクールを開校。「料理は、もっともっと夢のある楽しいもの」をモットーに、雑誌や書籍をはじめ、テレビ、ラジオ、講演会、各種の料理イベントで活躍中。自身の経験をもとに考案したダイエットメニュー、野菜料理は特に定評があり、主宰の料理教室では「家族の健康」「笑顔のある会話」に役立つ家庭料理を教えている。



Keiyukai Sakai

2019年度 蹊友会総会のご案内

「あの頃の笑顔に戻れる場所」母校に是非お集りください。

開催日 2019年 6月1日（土）

時 間 10:15 <9:45 ~受付開始>

会 場 大阪成蹊学園 相川キャンパス
図書館棟 7F ホール

- ・総会後は、ジャーナリスト・ニュースキャスターの辛坊治郎氏による特別講演を開催します。
- ・総会は事前申し込みが必要です。

※詳細・お申込方法はチラシもしくは蹊友会ホームページをご覧ください。
※内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

特別講演



Profile

特別講演 辛坊 治郎氏
JIRO SHINBO

講演タイトル

時代を読み解く

～正しい判断は正しい情報から～

1956年 鳥取県米子市生まれ 大阪府岸和田市出身
1980年 早稲田大学法学部卒業
同 年 読売テレビ放送株式会社入社
アナウンサー、キャスター、ドキュメンタリープロデューサーなどを担当
1993年 報道局解説委員
1996年 USIA（アメリカ国務省文化交流庁）の招きで米国メディア研究
1997年 ニューヨークベース大学客員研究員
～1998年 報道局情報番組部長
2000年 読売テレビ解説委員長
2009年 読売テレビ放送株式会社退社
同 年（株）大阪総合研究所代表就任
現 在 大阪総合研究所代表、読売テレビでキャスター、ニュース解説を担当
YouTubeチャンネル「辛坊の旅」、「辛坊治郎のメールマガジン」配信中



近江舞子セミナーハウスから びわこ成蹊スポーツ大学へ

「びわこ成蹊スポーツ大学」は元々
「近江舞子セミナーハウス」でした!

【びわこ成蹊スポーツ大学 沿革】

2003年 4月 びわこ成蹊スポーツ大学 開設 入学定員 180人
2007年 4月 びわこ成蹊スポーツ大学 入学定員増 270人
2012年 4月 びわこ成蹊スポーツ大学『大学院』開設
2013年 4月 びわこ成蹊スポーツ大学 入学定員増 280人
2016年 4月 びわこ成蹊スポーツ大学 入学定員増 360人



そして今

2019 (平成 31) 年度、びわこ成蹊スポーツ大学同窓会は蹊友会と統合し、新たなスタートを切りました。そこで今回は開学以来進化し続けるびわこ成蹊スポーツ大学をクローズアップ。西に比良山系、東に琵琶湖という豊かな自然に恵まれたびわスポの魅力をお伝えいたします。

2019 年

入学者数
開設時より **2倍!**



びわスポ
キャンパスマップ

豊かな自然に囲まれたスポーツに適した環境

目の前に広がる近江八景『比良の暮雪』



琵琶湖畔ならではの『艇庫』



びわスポキャンパスの目の前には、湖西にそびえる雄大な比良山系が広がり、世界に誇る浮世絵師歌川広重も題材にした近江八景『比良の暮雪』の比良山系登山口があります。この日は厚い雲がかかり、なかなかベストショットを撮ることはできませんでした。しかし、風も強いせいもあって、時折美しい山並みが姿をみせます。

琵琶湖のほとりには艇庫があり、ボートやカヌー、サーフボードがずらりと保管されています。琵琶湖畔という環境がなし得るこの設備は自慢の一つではないでしょうか。びわスポが誇る『野外スポーツ3大実習』では、この大自然の中で、五感を使ったプログラムが展開されています。夏になると部活終わりの学生たちが琵琶湖へ泳ぎに行くそうです。

びわスポの新たな中核施設 A 2017年竣工『中央棟』



1～3Fには事務室、講義室。4Fは琵琶湖を一望できる展望レストラン「Lake Crest (レイク クレスト)」ガラス張りのこの中央棟。西側の窓からは近江八景「比良の暮雪」比良山系を、東の窓からはサッカーフィールド、陸上フィールド、その先には様々な表情を魅せてくれる美しい琵琶湖を眺めることができます。3Fの学長室は室内2面が全面ガラス張りになっており、まさに絶景。取材日は残念ながら太陽が見え隠れするものの小雨模様。

夕刻、明かりの灯った中央棟は校舎とは思えないほどおしゃれな外観で人を惹きつけます。

B 陸上フィールド・サッカーフィールド



開学当初からある陸上フィールドは2017年に国際大会を想定した全天候対応のブルートラックに仕様変更しました。びわスポのテーマカラーでもあるブルー。びわスポ大を象徴するかのようパッと目を引くトラックです。トラックを見学していると中央の芝のあたりから「ポフッ」という重たい何かが落ちる音が…砲丸投げ・円盤投げの練習をしている学生がいました。小雨の中、仲間とともに自分の投球フォームを確認しながら練習する姿はまさにスポーツ選手! 部員数280名を越えるサッカー部は2017年全日本サッカー選手権で全国ベスト8に入るほどの強豪チーム。数多くのプロサッカー選手を輩出しています。陸上トラックにもサッカーコートにも、授業の空き時間を利用してジャージ姿の学生が各種目の自主練習に励んでいます。

D 近江舞子セミナーハウスの名残は今も



かつて新入生宿泊研修や野外活動等で使用されていた近江舞子セミナーハウス。現在は宿泊はしていないものの、役目を変えて野外炊事場やバンガローは健在。野外授業で使用するスキー板の保管・メンテナンスの場として今も活躍しています。バンガローの奥にある森は、残置森林のため当時のままです。この風景、懐かしく感じる方もいらっしゃるのでは?

取材日: 2019年1月21日 取材者: 蹊友会事務局



天気の変り変わりの激しい比良では雨が降ったあとに虹が出ることも多いのだとか。今回は、びわこ成蹊スポーツ大学入口豊学長より、お気に入り写真をご提供いただきました。

びわこ成蹊スポーツ大学
入口 豊学長



4F展望レストラン「Lake Crest (レイク クレスト)」で人気のメニューをいただきました。日替わりメニューの肉じゃが、学生の声から生まれたハーフ丼 (カツとから揚げの両方のせ) 綺麗な景色を見ながらの食事は一段と美味しかったです。

C 学修サポートもバッチリ『コモンズ』



元々は食堂と売店が入っていたというこの建物。今は改装を経て学生の学びを支援する「コモンズ」へと変貌を遂げました。明るく暖かい雰囲気この場所では、就活対策や教職採用試験対策、グループ学習のミーティングなど利用できるそうです。しきりのない広々とした空間を、学生たちはパーテーションを自由に使用して必要に応じてスペースを作ります。コモンズにはスタッフが常駐しているので、迷ったり困ったりしたらすぐに相談できる環境が整っています。ここに来る学生たちは「次の一歩へ進む」という同じ目標をもった仲間たち。自由な雰囲気の中にも真面目に勉強に取り組む姿勢は、まさに大学生のお手本を見ているかのようです。

びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部

- ◆ スポーツ学科
 - 学校スポーツコース
 - コーチングコース
 - トレーニング・健康コース
 - スポーツ情報戦略コース
 - 野外スポーツコース
 - 地域スポーツコース
 - スポーツビジネスコース
- ◆ 大学院スポーツ学研究科

びわこ成蹊スポーツ大学では、現在教育内容の全面的な見直しを行っており、2020年4月から、現行の7コースを6コースへと改編し、学びの一層の向上を図ります。

びわこ成蹊スポーツ大学

TEL: 077-596-8410 (代)
URL: <http://biwako-seikei.jp/>
(大学ホームページ)

<http://bss-nyushi.jp/>
(入試情報サイト)

入試部 TEL: 077-596-8425
E-mail: nyu@bss.ac.jp
〒520-0503 滋賀県大津市北比良1204番地



GRADUATE TIMES

様々な世界で活躍する大阪成蹊学園卒業生の今にフォーカス

今の私は大学4年間の 学びと出会いのおかげ

長谷川体育施設株式会社 陸上競技部 所属

山内 愛

AI YAMAUCHI

大阪成蹊大学マネジメント学部

マネジメント学科
スポーツビジネスコース
＜平成 29 年卒＞



学園の横断幕は自信を鼓舞する大きな存在

私は2017年4月から長谷川体育施設株式会社陸上競技部に所属し、やり投げを専門に日々練習に励んでいます。大阪成蹊大学在学中も陸上競技部に所属し、4年生の時には日本学生対校選手権で女子総合初優勝を果たし、全国の頂点に立ちました。個人では日本選手権2位、日本学生対校選手権2位の成績を残し、ユニバーシアード競技大会、アジア選手権など日本代表として世界大会出場も経験しました。試合で良い結果を出したり世界大会に出場したりすると、学園中からお祝いの言葉をいただいたり、壮行会を開いてくださいました。キャンパスには自分の名前が入った横断幕も作っていただき、飾られた横断幕を見るととても嬉しく、同時に『もっと強くなろう、頑張ろう』と、自身を鼓舞する大きな存在となりました。

マネジメント面の学びは大きな財産

大学では、マネジメント学部スポーツビジネスコースに在籍し、スポーツに関することを数多く学びました。大学に入学するまでは、私は選手としてスポーツをする側のことしか知りません

でしたが、講義や研究を通して、選手を支える側、選手のみならずスポーツを作っていくマネジメント面を学び、スポーツの深さ、面白さを改めて感じることができました。目標設定の立て方、体調管理、スケジュール管理、メンタルコントロール、大会運営などは、競技をする上でとても大切で、自身の体調・メンタル管理をよりの確に求められる実業団選手としての現在、これらのことを在学中に学べたことは大きな財産となっています。今後、（まだまだ先の話ですが）現役を引退して競技から離れる日がきても、社会人として必要なことを学べたと思います。

大学4年間の素晴らしい出会いに感謝

何より私が4年間の大学生活で得た1番のものは、人との出会いです。陸上競技上の指導やスポーツマネジメントの重要性を教えてくださいました素晴らしい先生方、共に切磋琢磨した仲間に出会い、4年間、多くの皆様に応援いただき、支えて頂いたおかげで今の私があります。大学生の時は（個人種目では）一度も日本一に輝くことができませんでした。その悔しさを抱えたまま選手生活を終わることなんてできないと強く思い、実業団で競技生活を続けることを決めました。今、大学卒業後もこうして大好きな陸上競技を続けることができて幸せです。良い結果を出して応援くださった皆さんに恩返しできるように、大阪成蹊学園自慢の卒業生と言ってもらえるように、自己ベストの更新、2020年東京オリンピック出場に向けて頑張ります。これからも、応援よろしく願いいたします。



大学で学び、夢を叶え、 さらに目標の教員像へ

大阪市立西九条小学校 教諭（専門科目：保健体育）

原 萌華

MOEKA HARA

大阪成蹊大学教育学部

教育学科
初等教育コース
＜平成 30 年卒＞



ゼミでの経験が赴任後活かされました

私が在学中に所属していた安部恵子(けいこ)教授のゼミは、教育・保育現場の課題に対して現状を把握し、その要因や課題

解決策を提案する『フィールド研究』を主としておりました。その研究のため、多数の児童を対象に、体力、運動能力、骨密度、接地足跡面積などの測定を安全且つ正確に実践する必要がある、協力先である小学校など現場の先生方とも何回も打ち合わせを行い、実施しました。また、幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象とした体力年齢算出のための測定にもゼミの一員として携わりました。学業のみならず教員採用試験対策の勉強や学外での活動と目まぐるしい日々でしたが、ゼミ仲間とのチーム力でやり遂げることができ、非常に充実した学校生活を送ることができたと思います。その結果、企画運営能力、段取り力、秒刻みで変化する現状にも臨機応変に対応できる力やコミュニケーション能力が身につきました。赴任後もこれらの経験が生かされ、児童の保護者対応、同僚の先生方との連携や子どもたちと向き合う際にも、相手の気持ちに寄り添い多面的多角的に見ることが出来ました。それは、私を育ててくれた学園の建学の精神『忠恕』に通じるものがあると思います。

子どもたちにとって『教室はチャレンジの場』

授業準備をする中で『この流れのほうが子どもたちにとって

クリエイターとして 大切なことを学びました

株式会社 188 グラフィックデザイナー／web デザイナー

大槻 紘睦

HIROMU OTSUKI

大阪成蹊大学芸術学部

情報デザイン学科
コミュニケーションデザインコース
＜平成 23 年卒＞



クリエイターの原動力

子どもの頃からデジタル機器やインターネットに触れながら育ってきた世代を『デジタルネイティブ』と言ったりもしますが、1989年生まれの私はまさにインターネットの黎明期に生まれた世代なので、いつも新しいテクノロジーやガジェット（機械、ソフトウェアなど）にワクワクしながら積極的に触れ合い育ってきたように思います。そんな中、中学生の頃に中古のパソコンを友人から譲り受け、自分の携帯の待ち受け画面の画像を作ったのが、最初に作ったグラフィックデザインでした。それを自分以外の人にも使ってほしいと思うようになり、webに興味を持ち、サイトを作り、インターネットで発信するようになって…。そんな事を始めて2年ほど経った頃、顔も知らない赤の他人から『とてもいいね！待ち受け画面に使っています！』とメールをたくさん貰うようになりました。メールを読んだときに、それまで感じたことのない嬉しさが込み上げてきたことを今も覚えています。最初のモノ作りの原動力は『作ってみたい』という単なる好奇心だったのですが、メールをきっかけに『人のために作りたい』と考え方が変わったことは、今の自分を形成する大きな経験だったと思います。

大学で学んだ2つの表現力

中学～高校の時期にずっと画像制作をしていたので、自然とグラフィックデザイナーになりたいと思うようになり、専門的なことを学ぶために大阪成蹊大学芸術学部コミュニケーションデザインコース（現：造形芸術学科ビジュアルデザインコース）へ進学しました。在学中に学んだ事はたくさんありますが、技術的なことだけではなく、物事の捉え方や考え方について

分かりやすい。』『子どもたちの興味を引き出せる内容だ。』と考えても、いざ授業を展開すると子どもたちの興味関心を十分に引き出せないこともあります。しかし、慌てず子どもたちの『今』の反応をしっかりと見ながら、子どもたちから「あっ!」「お～!」といった声が思わす出る内容に軌道修正しています。現在、私は3年生のクラス担任を受け持っています。子どもたちには柔軟に物事を考えられる人に育ってほしいと考えており、『教室はチャレンジの場』と折にふれて伝えています。その結果、日頃の成果が実を結び、正解にたどり着くまでの考えや様々な意見を主体的に発表する子どもが増え、自分以外の人の意見にも耳を傾け、のびのびと活気のある授業が展開されるようになってきました。

迷った時は「原点」と「熱意」を思い出す

しかし、それでも日々仕事をしていく中で、「もうだめだ。」と感じる時や、「私には向いてない。」と考えてしまうこともあります。その時に、ゼミの先生からいただいた『迷ったときは原点に』という言葉をおもひします。小学校6年生のとき、

学べた事が自分にとってとても大きかったと思います。表現したいモノや、推し進めたいプロジェクトを作っていくには、制作的な技術が必ず必要になります。しかし、モノ作りにおいて大切なのは『根本にある想いや情熱をしっかりと整理し、言葉にし、となりの人へ伝える』といったことです。やはりどんな仕事も人と人が繋がって作っていくものなので、技術的な表現力も大切ですが、言葉や想いを伝える表現力が必要となる場合がとても多いです。ある教授から「グラフィックデザイナーになると豊かな人生をおくれるよ」と言われたことがあります。その言葉を聞いて当時の自分はお金についての裕福という意味と捉えていましたが、卒業して仕事をしていく中でその言葉の本当の意味を理解しました。最近になって教授に「こういう意味ですね?」と答え合わせをした時があって、「ようやく分かったのね」と笑われましたね（笑）。

学びのバトン

今はポスターやフライヤーのデザインを中心にロゴ、装丁、パッケージ、webなど様々なデザインをしています。必要に応じて木材で小道具を工作したり、簡単な映像を編集したり、撮影用の料理を作ったり、何でもやっています（笑）。制作中はほぼパソコンの前に座っていますが、ミーティングをしたり現地ロケのために外へ出かけたりすることも多くあります。また、会社の1Fにはレンタルギャラリーを併設しているので、外部のクリエイターさんや学生さんの展覧会のお手伝いなどもしたりしています。特に最近ではweb、SNS、スマートフォンに絡む仕事も増えてきているので、一周回って自分が中高生の頃にやっていた事を再びやっているような感覚になることもあります。ですが、その考え方や向き合う姿勢は、大学で学ぶことにより大きく変わり、成長させてもらえた実感しています。目の前の仕事はもちろん頑張りますし、まだまだ勉強しなければならないことばかりですが、それとは別に、自分よりも若い世代のクリエイターを志す人たちへ、自分が学んだことをしっかりと伝えていければ良いなと思っています。



『サントリー1万人の第九』2019公式プログラム冊子デザイン CL/毎日放送



『やさしいニュース』ロゴデザイン CL/テレビ大阪

困ったことや悩みごとがあるときはすぐに気づいてそばに寄り添い、いつも優しく背中を押してくれるような先生に出会いました。その時からの『教師になりたい』という夢を叶えるために、大阪成蹊大学教育学部に入學しました。教員採用試験合格を目指し、人生で一番だと言えるほど机に向かい、色々なことにもチャレンジし、厳しいと感じ挫折してしまいうな時も、同じ目標をもつ仲間とともに乗り越えてきました。今後も、自分の進む道に迷っていると感じた時は、『私の原点』と『教職への純粋な気持ちと誰にも負けない熱意』を決して忘れず、目標とする教員に少しでも近づけるように精進していきたいと思っています。



大阪成蹊学園 現役学生達が目覚ましい活躍をご紹介

2018年

コーラス部

NHK大阪ホール 開催 演奏曲「ふるさとの夜に寄す」
第85回 NHK全国学校音楽コンクール ★ **銀賞**

大阪・コスモシアター大ホール 開催 演奏曲「約束」
平成30年度大阪府合唱コンクール ★ **金賞**

兵庫・芸術文化センターKOBELCO大ホール 開催
第73回関西合唱コンクール

その他、大阪成蹊学園85周年記念式典、大阪成蹊学園コンサート等、学園行事多数出演



大きく飛躍できた2018年。彼女たちと一緒にもっと高い目標へ

『歌は心のハーモニー』皆で協力する姿勢、相手を思いやる気持ちと優しさを最も大切にするクラブでありたいと願っています。コーラス部は毎週火・水・金曜日、7階ホールで練習をしています。その際「授業の妨げにならないよう、エレベーターを使わない」と指導していますが、本当は下半身を鍛え美しい発声につなげることが目的です。歌う姿勢を常に正しく保つことによって呼吸を意識させるようにしています。このように、限られた練習時間の中で出来る限り効率的な練習となることをいつも心掛けてい

ます。また、自主性や協調性を育むため、部員たちだけの練習も行います。2018年は初の関西大会への出場権を獲得し、大きく飛躍できた年でした。彼女たちと初めて出会ってからもうすぐ4年…思い出すことはたくさんあります。このような思い出を作ってくれたこと、一緒に過ごせたこと、それらは私にとって光り輝く珠玉です。これまで出会った全ての部員一人ひとりに感謝しています。そして、本年は彼女たちと一緒にもっと高い目標に向かって進んでいきます。

コーラス部 指揮者 **安川 裕子**

OSAKA SEIKI GIRLS' HIGH SCHOOL 大阪成蹊女子高等学校

陸上競技 2018年4月9日～4月13日 シンガポール 開催

2018 シンガポールオープン ★ **大会新記録 4×100mR**-44秒31

2018年6月5日～6月10日 岐阜県メモリアルセンター長良川競技場 開催
第18回アジアジュニア陸上競技選手権大会 ★ **決勝進出 100m**



写真提供：月刊陸上競技

経験を活かし強くなっていきたい

シンガポールオープンでは、約1年振りのナショナルチームとしてのリレーでとても緊張しましたが、しっかりと自分の走りをすることができました。また、アジアジュニアでは、シンガポールオープン後の怪我で計画通りに練習ができず、力不足の結果となってしまいました。この国際大会を通して学んだことを来年の世界大会に活かし、強くなっていきたいと思います。

マネジメント学部 2年生 **齋藤 愛美**

2018年8月2日～8月5日 アメリカ・フロリダ キシミー 開催

バトントワリング 第34回世界バトントワリング選手権大会

★ **第4位 フリースタイル個人(男子シニア部門)**



自身の活躍で競技を広めたい

今大会は、男子シニア部門初出場となりました。本番では、世界大会に対する思いが強すぎたため自分の演技ができず、決して納得のいく結果ではなかったのですが、改めて世界大会という大きな舞台の凄さを実感し、次も世界を目指して頑張ろうと決意しました。また、私自身がこのような国際大会に出場することで世にバトントワリングという競技を広めていけたらと強く思います。

マネジメント学部 4年生 **高橋 一生**

2018年6月23日～6月24日 香港 開催

陸上競技 香港インターシティ陸上選手権大会 2018

★ **優勝 200m**-24秒52



世界と勝負できる選手になりたい

海外での試合は初めてということもあり、香港に到着するまでは緊張していましたが、試合では落ち着いてレースに臨むことができました。国内の試合とは違った雰囲気の中で自分のレースができたことは大きな経験になりました。この経験を活かし、日本のトップレベルで勝負し、世界に挑戦できる選手になれるよう頑張りたいと思います。

マネジメント学部 3年生 **柳谷 朋美**

2018年8月24日～8月25日 駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館 開催

バドミントン 2018 ジュニアスポーツアジア交流大会

★ **第3位 男子シングルス SL4**



最終目標は東京パラリンピック出場

この大会には3年連続で出場しています。今年の大会では世界的に上位のアジア人選手、それも同世代の選手と対戦し、自分の現状を把握することができ、とても有意義な大会になりました。この経験を活かし、来年の世界選手権出場、そして東京パラリンピック出場を目標に頑張ります。

マネジメント学部 2年生 **竹内 俊平**

2018年9月5日～9月12日 韓国・太田市 開催

男子サッカー 2018アジア大学サッカートーナメント

★ **日本代表メンバーに選出 第3位入賞**



世界との差を知ることができた

アジア大学サッカートーナメント大会の日本代表メンバーに選拔され参加しました。これまでに海外のチームとは年に数回試合をしていましたが、公式戦は2年ぶり、真剣勝負の中で自分の力を測れる良い機会でした。日本では味わえないスピード感を感じることができて、世界との差を知ることができました。この大会で学んだことを活かして、もっと成長してびわこ成蹊スポーツ大学サッカー部に貢献していきたいです。

スポーツ学部 2年次生 **佐藤 昂**



プロの世界へ行くための通過点

世界を経験できたことは良い経験となりました。全国から集まったばかりの集団で難しい点もありましたが、プレーをやりやすくすることがセンターバックである自分の役目だったので上手く統率できたことが良かったと思います。この経験は大きなものですが、自分にとっては通過点。プロの世界へ行くために当たり前のように通過しなければと思っていました。サッカー部日本一を勝ち取るため、自分が世界に飛び出せる準備をし、びわこ成蹊スポーツ大学での毎日を充実した濃いものにしていきたいです。

スポーツ学部 2年次生 **藤松 航矢**

2018年6月23日～6月24日 香港 開催

陸上競技 香港インターシティ陸上選手権大会 2018

★ **三段跳 第2位入賞**



世界で活躍できる選手へ

今回の大会は初の海外での試合ということもあり、いつもと違った環境での試合でした。そのため慣れないことも多く、思うような記録を出せませんでした。特にスコールや気温の変化への対応がうまくできず、苦戦しました。しかし、この海外遠征で学べたことも多く、よい経験となりました。今後、この経験を生かして世界で活躍できる選手へと成長したいです。皆さんのサポートをしていただき、ありがとうございました。

スポーツ学部 2年次生 **梅津 彩香**

2018年8月2日～8月5日 アメリカ・フロリダ キシミー 開催

バトントワリング 第34回世界バトントワリング選手権大会

★ **優勝(団体)**



頑張って掴んだ満点スコア

世界大会というどんな大会よりも緊張する本番のなか、決勝ではノミスの演技をすることができ、日本代表チーム「GENESIS」は100点満点のスコアを出すことができました。今まで練習してきたことを発揮でき、結果につながり、本当に頑張って良かったです。このような素晴らしい経験ができたことに感謝し、次も同じ舞台に立てよう努力したいと思います。

スポーツ学部 3年次生 **田中 絵里奈**

2018年9月1日 オーストラリア MT BULLER 開催

スキーフリースタイル ABOM モーグルチャレンジ2018

★ **第5位(ジュニア優勝)**



目指すは2022北京オリンピック

大会では、緊張するというよりも滑ることを楽しむようにしています。普段の練習の成果を発揮する意味でも、自分の滑りを見せようと思っかけています。モーグルは、ターン60点、エア20点、スピード20点で競います。私はコースの特徴を掴み、斜度の急な斜面が得意です。行ったことのない場所やコースに挑むのは楽しく、行く前からワクワクしています。今大会は2年連続出場で同じ会場だったため、ある程度様子がわかっていただけもあり、思う存分力を発揮することができました。将来は、2022年の北京オリンピックを目指したいと思います。

スポーツ学部 3年次生 **平山 将太**

2018年8月19日～8月25日 カナダ・トロント ウォータールー 開催

アルティメット WFDF 2018 世界ジュニアアルティメット選手権大会

★ **第6位(10試合に出場 得点18、アシスト2)**



競技の素晴らしさを改めて実感

開催地のカナダに到着し、他国の選手と比べて日本人は小柄であり、体格差があることを感じました。しかし、小さな体格でも俊敏な動きとスピードで勝り、世界でも通用すること

を実感しました。アルティメットは審判がいないうちの競技のため、コールが起こると当事者間での話し合いが行われます。相手選手と英語で話し合いをしたのですが、私の拙い英語を聞き取ろうと耳を傾けてくれました。この大会を通して、積極的にコミュニケーションをとりながらプレーするアルティメットの素晴らしさを改めて感じる事ができました。この経験を活かし、世界で通用する選手になれるように頑張りたいと思います。

スポーツ学部 3年次生 **後藤 風**

2018年12月3日～12月10日 グラム 開催

軟式野球 第21回 全日本大学軟式野球国際親善大会

★ **日本代表メンバーに選出 4戦4勝 無失点**



3試合スタメン出場で勝利に貢献

親善大会では、グラムの地元チームとの交流試合を行いました。気温も高く、計10日間の遠征は、練習と試合ばかりのハードスケジュールでした。しかし、全国から選ばれたレベルの高い選手達とプレーできたことは、私にとって今までで一番貴重な経験でした。試合結果も4戦4勝無失点と日本の軟式野球のレベルの高さを見せつけることができたと思います。自分自身も3試合にスタメン出場し、出塁率も高く、チームに貢献できたと思います。この経験を活かしびわこ成蹊スポーツ大学軟式野球部の勝利、軟式野球の世界中への普及に貢献できるように、これからも頑張っていきます。

スポーツ学部 4年次生 **島川 裕太**

KEIYU 15

大阪成蹊大学 2020年度構想

※2020年度構想のため、内容は変更になる場合があります。

マネジメント学部 経営学部 に名称変更

＜入学定員構想＞240名→300名にUP↑

マネジメント学科 経営学科 に名称変更

＜入学定員構想＞70名→110名にUP↑

＜新コース誕生＞公共政策コース

国際観光ビジネス学科

＜入学定員構想＞60名→80名にUP↑

教育学部初等教育専攻

＜入学定員構想＞120名→140名にUP↑

2019年3月竣工

『大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学グローバル館』

卒業制作の展示やファッションショー、各種セミナーなどのイベントが開催可能な広々とした大ホールを備えます。全学的な英語教育を推進する「英語教育センター」には、英語学習や留学相談ができるよう、英語教員や英語に堪能なスタッフが常駐。また、学生が自由に英会話を楽しんだり、教材に触れ、イベントに参加できる「English Studio」を設けています。



大阪成蹊大学
OSAKA SEIKI UNIVERSITY

マネジメント学部

◆国際観光ビジネス学科

- 国際キャリアコース
- 観光ビジネスコース

◆スポーツマネジメント学科

◆マネジメント学科

- 経営コース
- 食ビジネスコース

芸術学部

◆造形芸術学科

- マンガ・デジタルアートコース
- アニメーション・キャラクターデザインコース
- ゲーム・アプリケーションコース*
- ビジュアルデザインコース
- イラストレーションコース
- インテリア・プロダクトデザインコース
- テキスタイル・ファッションデザインコース
- 美術・アート表現コース*

* 2019年4月開設

教育学部

◆教育学科

- 中等教育専攻
 - ・英語教育コース
 - ・保健体育教育コース

□初等教育専攻

- ・初等教育コース
- ・幼児教育コース

◆大学院教育学研究科

- 教育学専攻（修士課程）



大阪成蹊短期大学
OSAKA SEIKI COLLEGE

◆幼児教育学科

◆調理・製菓学科

◆生活デザイン学科

- 調理コース
- 製菓コース
- フードコーディネートコース
- アパレル・スタイリストコース
- ファッションコーディネートコース

◆栄養学科

◆観光学科

◆グローバルコミュニケーション学科

- ・英語会話クラス
- ・日本語・日本文化クラス
- ・声優トライクラス
- ・舞台パフォーマンスクラス

◆経営会計学科

ファミリー入試制度のご案内

ご家族（受験者から三親等以内）のいずれかが、大阪成蹊学園内の設置学校（ただし幼稚園を除く）の卒業生または在學生である方が対象となります。ファミリー入試合格者のうち、成績基準を満たす方には学費免除制度などの特典がございます。

※2020年度入試につきましては変更になる場合があります。

お問い合わせ先

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 入試広報本部

（受付時間 平日9:00～17:00）

〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川3-10-62

TEL: 06-6829-2554 E-mail: nyu@osaka-seikei.ac.jp

入試情報サイト: <http://osaka-seikei-nyushi.jp/>



大阪成蹊女子高等学校
OSAKA SEIKI GIRLS' HIGH SCHOOL

普通科

- *キャリア進学コース
- *キャリア特進コース
- *幼児教育コース
- *スポーツコース
- *音楽コース（仮称）2020年4月開設予定

美術科

- *アート・イラスト・アニメーションコース

2018年に美術科専用校舎「新美術棟」が完成しました。

1Fには高校食堂（フルリール）がリニューアルオープン。お昼時には生徒たちの集いの場となっています。

ファミリー特待生徒のご案内

下記の条件のいずれかに該当し入学された場合、奨学金支給の特典があります。

- ① 受験生の父・母・姉・兄のいずれかが、大阪成蹊学園内の設置学校（ただし幼稚園を除く）の卒業生または在學生（入学予定者も含む）である方
- ② 姉妹同時に入学される方（姉妹どちらにも適用されます）

お問い合わせ先

大阪成蹊女子高等学校 募集広報企画室

（受付時間 平日8:30～16:30 土曜日8:30～14:00）

TEL: 06-6829-2514

E-mail: bosyu-hig@osaka-seikei.ac.jp

入試情報サイト: http://high.osaka-seikei.jp/ex_info/

